

生徒・保護者の皆さま

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止のための臨時休業が、3月より2カ月以上経過しました。このゴールデンウィークもステイホーム週間となり、生徒・保護者の皆さまには、様々なご苦勞をされていることと存じます。

さて、通常のエ育活動を展開できない状況において、本校といたしましては、生徒の健康維持と学習保障の両立を目指して、ICTを利用した課題等のやり取りなど、試行錯誤を重ねながら、教職員一同取り組んでおります。

学習課題については、新年度に入った4月からは、各教科担当者からの課題を学年ごとにまとめ、G suite等を活用して、計画的な学習をお願いしております。課題の取組み状況は、重要な評価材料の一つとなります。

この状況は、本校だけでなく、全国の高校生が同じような状況で学習を進めており、一人で学習を進めるにあたり、進捗状況に不安を持つこともあるでしょう。学習の成果を練習問題等で振り返り、知識の定着を進め、表現力など総合的な学力の伸張をぜひ目指してください。特に3年生の皆さんは、進路について具体的な目標達成に向けて、本校から発信されている情報をぜひ活用してください。

また、学習だけでなく、本来であれば、生徒の皆さんが体育祭などの学校行事、部活動の公式試合や定例発表会など練習の成果を發揮する時機となり、私も皆さんの活躍を楽しみにしておりましたが、今年度は、中止・延期などの対応となってしまっています。本当に残念です。4月下旬には、関東大会に続いて、全国高校総合体育大会（インターハイ）の開催の中止も発表されました。大切な目標がなくなってしまうというこの現実に対して、皆さんとともに地道な練習を積み上げてきた顧問の先生方も苦悩されていることと思います。

今、皆さんに言えることは、目の前の大会成績や発表会という目標は、なくなりましたが、積み重ねてきた努力は、皆さんの体力、競技力、表現力として蓄積されています。仲間とともに努力し、苦しみを乗り越える心の繋がりはず、これからの人生の糧になると信じています。

最後になりますが、保護者の皆さまには、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。引き続き、生徒の学力向上、健康管理に注意しながら、進路目標の実現に向けて努力してまいります。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年5月6日

横浜氷取沢高等学校長 本郷 宏一